

災害への備えについて考えよう。

災害は、いつ起こるか分かりません。

平成23年（2011年）3月11日に、東日本大震災という大きな地震の災害が起きました。みなさんの中には、地震が起きた14時46分に、学校で卒業式の準備をしていたり、教室で作業したりしていた人もいましたね。今でも、昨日のことのよう思い出されます。

さて、災害が起こったときには、「自分の身を守る」ことが最も大切です。みなさんは、自分の身を守る方法をどのくらい知っているでしょうか。

一般財団法人全日本ろうあ連盟では、「聴覚障害者災害時初動・安否確認マニュアル」を作成したそうです。このマニュアルでは、聴覚障がい者が災害のときに命や生活を守るためにどうするかが書かれています。下に載せたアドレスからマニュアルが見られますので、インターネットに接続できる人は、冬休みに調べて活用してみましょう。

③外出時に身につけておきたいもの

☐ 身元・連絡先カード (身体障害者手帳)	☐ かかりつけ病院診察券 ・病名・処方薬のメモ	☐ 携帯電話
☐ ハンカチ・ティッシュ	☐ メモ帳・筆記用具	☐ 笛
☐ 飲料水・軽食	☐ 超小型ペンライト	☐ 携帯防災マップ(P27 参照)
☐	☐	☐

*空欄には、あなた自身で必要と思うものを書き入れてください。

「聴覚障害者災害時初動・安否確認マニュアル」 31ページより一部引用

※引用・参考文献

- 一般財団法人全日本ろうあ連盟『聴覚障害者災害時初動・安否確認マニュアル』
<https://www.jfd.or.jp/tohoku-eq2011/p018> (平成28年12月15日参照)